

新潟県土質改良事業協同組合プロフィール

【 事業概要 】

名 称	新潟県土質改良事業協同組合
設 立	平成16年6月16日
所 在 地	新潟県五泉市三本木2-1-14
電話/FAX	0250-43-1222 (FAX 兼用)
U R L	http://www.niigata-esr.com
E - m a i l	info@niigata-esr.com
代 表 者	理事長 渡邊富男
目 的	組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な共同事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつ、経済地位の向上を図ることを目的とする。
組合構成	正会員22社 賛助会員6団体 共同研究者1社 (R4.6 現在)
機械保有	自走式土質改良機19台

【 取組概要 】

- ・土質改良に特化した組合の設立により、一企業では対応が困難であった大量の建設発生土のリサイクルを可能とした。
- ・土質改良における手順を「ESR工法」として確立し、高品質および経済的な改良土を供給可能とした。

【 顧 問 】

佐藤 信秋 (参議院議員)

大川 秀雄 (新潟工科大学 学長 工学博士)

保坂 義則 (新潟大学工学部 助教)

帆苺 浩三 (株帆苺組 工学博士)

【 沿 革 】

- 平成15年 5月 任意団体 新潟土質改良推進協会設立
- 平成16年 6月 新潟土質改良事業協同組合設立 (14社)
- 平成17年 8月 産学連携による新潟大学との共同研究開始
「地盤材料の改良方法及び適切な使用方法に関する研究」
- 平成18年 6月 新技術情報提供システムNETIS 登録 (HR-060002)
- 平成18年 6月 国土交通省テーマ設定技術応募方式(フィールド提供)に選定
- 平成18年 6月 Made in 新潟 新技術活用制度登録 (18D1019)
- 平成18年 8月 新潟県土質改良事業協同組合へ名称変更
- 平成19年 9月 NETIS 少実績優良技術登録 (HR-060002-V)
- 平成20年 4月 農業農村整備技術データ(ARIC)登録 (277)
- 平成20年 5月 特許出願「土質改良材の添加量決定方法」
- 平成22年 4月 新潟県標準歩掛に制定
- 平成23年 7月 NETIS 震災復旧・復興支援サイトに技術情報掲載
- 平成23年 8月 Made in 新潟 新技術活用制度 ゴールド技術認定 (18D1019)
- 平成23年11月 新潟県優良リサイクル事業所表彰受賞
- 平成23年10月 NETIS 設計比較対象技術登録(HR-060002-V)
- 平成24年 1月 特許取得「土質改良材の添加量決定方法」 (特許第4902596号)
- 平成25年 7月 第48回地盤工学研究発表会 論文発表
「ESR 工法による安定処理土の長期耐久性」
- 平成25年10月 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰
「リデュース・リユース・リサイクル協議会会長賞」受賞
- 平成26年 9月 「E S R」商標登録 (第19,37,40類)

【 主な採用機関等 】 (順不同 敬称略)

- 国土交通省北陸地方整備局
 - ・ 信濃川下流河川事務所
信濃川
 - ・ 阿賀野川河川事務所
阿賀野川
 - ・ 新潟国道事務所
阿賀野B P、白根B P
 - ・ 信濃川河川事務所
信濃川、大河津分水路
 - ・ 羽越河川国道事務所
日本海沿岸東北自動車道、新潟山形南部連絡道路
 - ・ 高田河川国道事務所
糸魚川東B P

○ 新潟県

- ・ 村上地域整備部
石川、岩船港、国道345号
- ・ 新発田地域整備部・農村整備部
福島潟、安野川
- ・ 新潟地域整備部
福島潟、鳥屋野潟、小阿賀野川、中之口川
- ・ 新津地域整備部・農業振興部
能代川、滝谷川、砥の窪ため池、関山ため池
- ・ 三条地域整備部・農業振興部
五十嵐川、加茂川、才歩川、長嶺ため池
- ・ 長岡地域整備部
刈谷田川、中之島川、猿橋川、渋海川、長岡東西道路
- ・ 佐渡地域整備部
国府川、国仲B P
- ・ 流域下水道事務所
西川処理場

○ その他

- ・ 東京電力柏崎刈羽原子力発電所 防潮堤